

サイドコア／エブリデイ・ホリデイ・スクワッド個展

SIDE CORE presents EVERYDAY HOLIDAY SQUAD solo exhibition

アンダープレッシャー *under pressure*

2021年4月24日(土)ー6月27日(日) 青森公立大学 国際芸術センター青森 [ACAC]



本州北端・竜飛岬／青函トンネルから発想する、生き続けるための「環境の循環」！

国際芸術センター青森[ACAC]は、SIDE CORE(サイドコア)による、EVERYDAY HOLIDAY SQUAD(エブリデイ・ホリデイ・スクワッド)の個展を開催します。SIDE COREは「風景にノイズを起こす」をテーマに、日本各地で展覧会やイベントを開催しているアートチームです。東京を拠点に、ストリートアートを切り口とした活動を展開しています。

SIDE COREとEVERYDAY HOLIDAY SQUADは本州北端・竜飛岬の強風に吹かれながら、青函トンネルに関するリサーチを行いました。トンネルの斜坑や24年に及んだ工事の土砂埋立地などを見学するなかで、彼/彼女たちが注目したのはトンネルの湧き水です。竜飛岬の先端では、1分間に約20トンもの水を海に放出し続けています。トンネルが実用化されてからも、ずっと大量の水を排出し続けている事実は、巨大な建造物を維持する為に、それ自体を環境の一部として循環させ続けなければならないという課題を私たちに突きつけます。

今回は、まさにその「環境の循環」をキーワードに、アートセンターの巨大な建築に強風を吹き込む＝換気をする展覧会を開催します。パンデミックの状況は、大きな圧力(プレッシャー)となって私たちに押しかかっています。彼/彼女たちのアプローチは、その状況を遊び心と共に眼差し、この時代のアートや展覧会という制度に風穴を開けるでしょう。

お問合せ 青森公立大学 国際芸術センター青森 [ACAC] 担当：慶野(けいの)

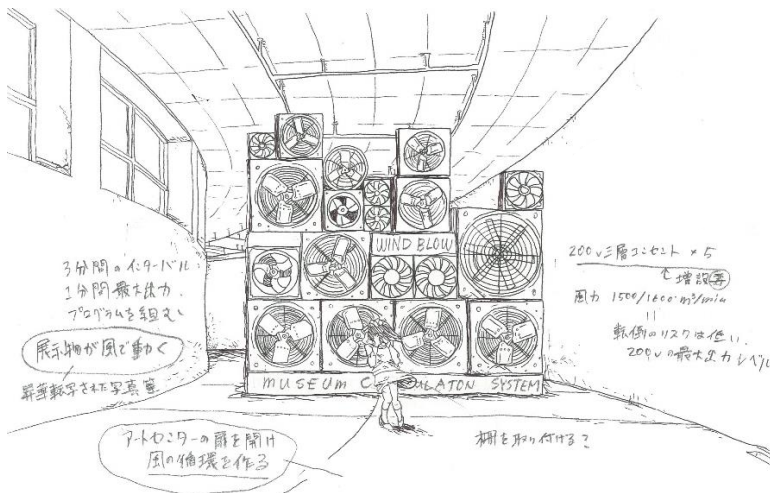
address: 030-0134 青森市合子沢字山崎 152-6

tel: 017-764-5200 fax: 017-764-5201 <http://www.acac-aomori.jp/>

e-mail: keino@acac-aomori.jp / acac-1@acac-aomori.jp



展覧会のみどころ



<本展のためのドローイング>

—アーティストによるコロナ禍への直接応答
本展の目玉は、アートセンターを文字通り循環させるための換気装置。様々なイメージを喚起させる形態になる予定です。作品はポストコロナ・アーツ基金の助成も受け、制作されます。

—エブリデイ・ホリデイ・スクワッド(EHS) 初となる、公的施設での個展開催

SIDE CORE と共に、ストリートアートを切り口に活動を続ける EHS。今回は、アートセンターの施設全体へアプローチするだけでなく、公共の建造物を成立させている土木の背景、人工的な働きにも意識を向けるものとなるでしょう。

—青森の風景から、ここでしか実現できない表現を立ち上げる

竜飛岬や青函トンネルの見学を行ったサイドコアと EHS。ローカルなリサーチから、トンネル／建造物を維持し続けるための「環境の循環」という普遍的なテーマに辿り着きました。このテーマは公共施設の維持や感染症対策のための換気といった、誰しもが直面している課題と結びつきながら、今ここでしか見られないインスタレーションとして現れることでしょう。

作家プロフィール

—SIDE CORE (サイドコア)

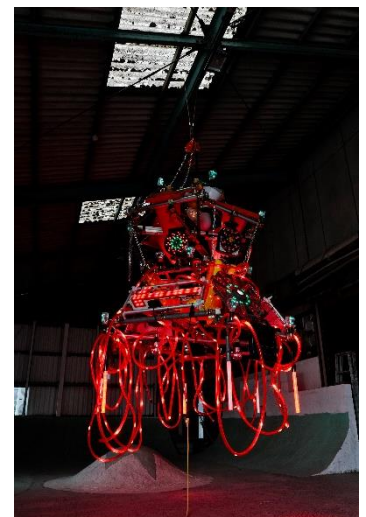
2012 年より活動開始。メンバーは高須咲恵、松下徹、西広太志。ストリートカルチャーを切り口に様々なアートプロジェクトを展開している。「風景にノイズを起こす」をテーマに、都市や地域でのリサーチを土台としてアクションを伴った作品を制作。ギャラリーや美術館での展覧会開催の他に、壁画プロジェクトや街を探索する「ナイトウォーク」など野外空間での活動も展開。全てのプロジェクトは、公共空間における視点や思考を転換させ、表現や行動を拡張することを目的としている。近年参加した主な展覧会に「大京都芸術祭 2020 in 京丹後」(2020、京都府)、「生きている東京展」(2020、ワタリウム美術館、東京)、「Out of Blueprints by Serpentine Galleries」(2020、NOWNESS, UK)など。

—EVERYDAY HOLIDAY SQUAD (エブリデイ・ホリデイ・スクワッド)

2015 年度よりSIDE CORE と共に活動する匿名アーティストグループ。アーティスト、キュレーター、映像作家等が参加している。ストリートカルチャーの視点から都市空間やそこにあるルールに介入していく、遊び心溢れたアート作品を制作している。



▲ SIDE CORE, MoWA (Reborn-Art Festival 2019, 宮城)



▶ EVERYDAY HOLIDAY SQUAD, rode work

(Reborn-Art Festival 2017, 宮城) Photo: GOTO Shuji

開催概要

展覧会名	SIDE CORE presents EVERYDAY HOLIDAY SQUAD solo exhibition “under pressure”
会期	2021年4月24日(土)ー6月27日(日) *会期中無休、入場無料
会場	青森公立大学 国際芸術センター青森 展示棟ギャラリーA、B (青森市合子沢字山崎 152-6)
開館時間	10:00ー18:00 (展示棟ラウンジは 9:00ー19:00)
その他	展示棟受付または事務室にて、ACAC の事業運営支援を目的とする「事業協力金(寄付金)」への協力をお願いしています。 当館の活動をご理解いただき、ご寄附という形でみなさまの力強いご支援・ご協力をいただければ幸いです。
主催	青森公立大学 国際芸術センター青森 [ACAC]
協力	AIRS(アーティスト・イン・レジデンスサポーターズ)、青森公立大学芸術サークル ほか
特別協力	ポストコロナ・アーツ基金
助成	公益財団法人 三菱 UFJ 信託地域文化財団
後援	NHK 青森放送局、青森テレビ、RAB 青森放送、青森朝日放送、青森ケーブルテレビ、エフエム青森、 青森文化放送、東奥日報社、陸奥新報社、デーリー東北新聞社
企画	慶野結香(ACAC 学芸員)

関連イベント

ーオープニングトーク

本展覧会を手がけた SIDE CORE が、今回の展覧会と作品についてツアーをしながらお話しします。

日時 | 4月24日(土)14:30-15:30 会場 | 展示棟ラウンジ集合→ギャラリー内へ移動

*参加無料、要予約(定員:20名、申込締切:4月19日(月))



▲ 関連イベントは、電話(受付:9:00-17:00)、FAX、
メールのほか、このQRコード(Google フォーム)でも
申込みを受けています。

ーNIGHT WALK tour 映像作品上映会

SIDE CORE が東京で行った「NIGHT WALK tour」映像作品の上映会を開催します。

日時 | 4月25日(日)18:00-21:00 会場 | 展示棟 AV ルーム *参加無料、要予約(定員:10名、申込締切:4月19日(月))

ーNIGHT WALK tour in AOMORI

SIDE CORE の「NIGHT WALK tour」青森版を開催します。青森市内まちなかの隙間や不思議な建造物などを鑑賞しながら歩きます。

日時 | 5月1日(土)18:00-21:00 会場 | 参加者へ個別に連絡します *参加無料、要予約(定員:10名、申込締切:4月26日(月))

ークローズingtーク SIDE CORE×榎木野衣(美術評論家)

美術評論家の榎木野衣氏を招き、SIDE CORE と EVERYDAY HOLODAY SQUAD による本展覧会のことを起点に、戦後から現在における日本社会と表現の関係について考えます。

日時 | 6月27日(日)14:30-16:00 会場 | 展示棟ラウンジ *参加無料、要予約(定員:20名、申込締切:6月21日(月))

*イベントはすべて予約制となります。申込みが定員を超えた場合は抽選となり、各申込締切日の翌日に参加可能かどうかご連絡します。ご了承下さい。

*予定されている催事は、やむを得ず変更される場合がありますのでご了承ください。最新情報は、当館ホームページをご覧ください。

*ご来場の際には、当館の新型コロナウイルス感染症対策にご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

お問合せ 青森公立大学 国際芸術センター青森 [ACAC] 担当: 慶野 (けいの)
address: 030-0134 青森市合子沢字山崎 152-6
tel: 017-764-5200 fax: 017-764-5201 <http://www.acac-aomori.jp/>
e-mail: keino@acac-aomori.jp / acac-1@acac-aomori.jp

